

武相地区剣道大会

1. 大会要項

(1) チーム編成

① 男子チーム (1 チーム 7 名)

大将：50 歳代以上 1 名、副将・三将：40 歳代 2 名、

中堅・五将：30 歳代 2 名、次鋒・先鋒：20 歳代 2 名

年代が上の者が下のクラスに出場することは妨げないが、その逆は認めない。

② 女子チーム (1 チーム 5 名)

大将・副将：40 歳代以上 2 名、中堅・次鋒：30 歳代 2 名、

先鋒：20 歳代 1 名

年代が上の者が下のクラスに出場することは妨げないが、その逆は認めない。

③ 補欠は置かないが、大会開始前に申告した場合は選手の変更を認める。

④ 各剣道連盟名入りの名札を付けること。

⑤ 各剣道連盟男女共 2 チームまでとする。

⑤ 男女共段位の制限は無いものとする。

(2) 試合方法

① 予選リーグ、決勝トーナメント方式とする。

② 予選リーグの試合順位は勝ち点数、勝者数、取得本数により順位を決定する。

勝ち点数：1 勝－2 点 引き分け－1 点 1 負－0 点 すべて同じ場合はリーグ戦終了後に代表者により決定する。代表者戦は監督立ち合いのうえ抽選を行い、対戦の位置を決め、1 本勝負で決するまで行う。

③ 決勝トーナメントは勝者数、取得本数により勝者を決定する。

いずれも同じ場合は予選リーグと同様の代表者戦による。

④ 試合時間同はリーグ戦は男女ともに 3 分間、延長なし。

決勝トーナメント戦は男子 4 分間、女子 3 分間、延長なし。

但し代表戦は勝敗が決するまで。

⑤ 審判員は専任とし、審判員と監督・選手と兼任しない。

⑥ その他 (公財) 全日本剣道連盟、剣道試合・審判規則並びに審判細則により行う。

⑦ 試合参加費は 1 剣道連盟につき 2 万円。

⑧ 優勝、準優勝チームにカップ及び優勝、準優勝、三位チームに表彰状と記念品を授与する。

⑨ 審判長、日本剣道形の演武は持ち回りとし、同一連盟が担当する。